
(仮称)大阪フィランソロピー会議の検討

～大阪から新たなフィランソロピーの流れを生み出す～

(仮称)大阪フィランソロピー会議の目的・意義

大阪がめざすもの

「副首都ビジョン」において示された、

「フィランソロピーにおける国際的な拠点都市」を実現

新たな主体間のアライアンスや従来とは異なる手法の導入などを進め、社会的課題の解決を先導する。

社会的課題解決を通じて、自己実現を目指すクリエイティブ人材など多様な人材が活躍できる場や住民が社会参加できる場を創出するとともに、新たな産業や市場、雇用の創出を生み出し、都市の成長に寄与する。

(仮称)大阪フィランソロピー会議の意義・役割

課題解決に向け行う寄附や社会的投資など、世界的にフィランソロピーの関心が高まる中、大阪において従来の営利・非営利を越えた多様なセクターが一堂に集う「核となる場」をつくる。

本会議を核にして、社会的課題の解決を行うソーシャルイノベーションを起こすとともに、国内外に向けて発信し、大阪の国際的な存在感を高める。

新たな主体としての非営利セクター等の役割や信頼が高まることにより、第2の動脈（フィランソロピー・キャピタル）として人材や寄附、投資が集まるなど、非営利セクター等の活動の場を広げ、大阪での民間活動の活性化につなげる。

(仮称)大阪フィランソロピー会議構成イメージ

(仮称)大阪フィランソロピー会議は、非営利セクター等の関係者が集い議論を行う会議体である「**全体会議**」と、全体会議に向けて議論すべきテーマの整理や具体的な取組みについての検討を行う「**コア会議(仮称)**」で構成する。会議の中で必要に応じて分科会なども検討。会議は多様な非営利セクター、大学、企業、行政などが対等の立場で議論する場とする(参加者は無償で参画)。

(仮称)大阪フィランソロピー会議の立上げに向け、まずは、(仮称)大阪フィランソロピー会議に向けた準備会で検討を行う。

(仮称)大阪フィランソロピー会議に向けた準備会

コア会議の立上げに向けてメンバーや議題、会議の設え等を議論
将来的には、コア会議で議論された取組みなどを実施していく際の事務局的役割を想定

金井宏実氏	認定特定非営利活動法人大阪NPOセンター 代表理事
施治安氏	「大阪を変える100人会議」 顧問
出口正之氏	国立民族学博物館 教授
中川正隆氏	公益財団法人大阪コミュニティ財団 専務理事
早瀬昇氏	社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事
副首都推進局	行政(大阪府・大阪市)

(五十音順)

準備会へは無償で参画

準備会の合間にも、メール等を活用して情報共有を行う

準備会の活動は、原則として大阪府・大阪市のHPにおいて事後公表する

(仮称)大阪フィランソロピー会議イメージ

全体会議

本会議の趣旨に賛同した団体等で構成するインクルーシブな会議体(自由な議論)
会議の成果を広く発信
講演形式やシンポジウム形式など様々な手法の会議を想定

<全体会議メンバー イメージ>

本会議の趣旨に賛同した団体等

コア会議メンバー

コア会議

非営利の各法人類型などでリーディング的な団体の責任者、学識、行政等で構成
フィランソロピーの促進、非営利セクターの活性化にむけた問題提議や課題の検討、取組み内容などについて議論を行う。

<コア会議メンバー イメージ>

有識者	公益法人	社会的企業
大学関係	学校法人	企業CSR、CSV
中間支援組織	医療法人	VC
行政	NPO法人	協同組合
経済界	社会福祉法人	その他

（仮称）大阪フィランソロピー会議で議論する課題のイメージ

検討すべき課題 イメージ

情報発信、普及促進

- ・非営利セクターの社会的な認知度向上（活動の発信、大学等との連携）
- ・非営利セクターの情報の見える化の検討（法人の決算概要、活動内容・イベントなど）
- ・情報を集約・発信する仕組みの検討
- ・海外向けの発信
- ・民都・大阪としての発信（フィランソロピー都市宣言）
- ・イベント（学会、フォーラムなど）の開催や誘致等の検討

新たな資金の流れづくり

- ・プロジェクト型の寄附の促進
- ・SIB、ベンチャーフィランソロピーなど新たな仕組みの研究
- ・法人のプロジェクト・活動を認定・格付けする仕組み・基準
- ・遺贈相談など、寄附のマッチング
- ・寄附の受け皿としての組織の必要性

その他

- ・必要な運営支援
（情報発信、資源の確保、法人運営に必要な財務処理、役員のリスクヘッジ）
- ・必要な起業支援
（法人設立、企業等との連携、資源（人・資金）の確保）
- ・必要な制度改正・規制緩和

アウトプットイメージ

情報発信、普及促進

- ・非営利セクター見える化のポータルサイト立上げ
- ・プロモーション事業を関係者が連携して実施（イベント、キャンペーン、HP・SNSなどでの発信）
- ・フィランソロピー都市宣言
- ・大阪での国際セミナー、学会誘致 など

新たな資金の流れづくり

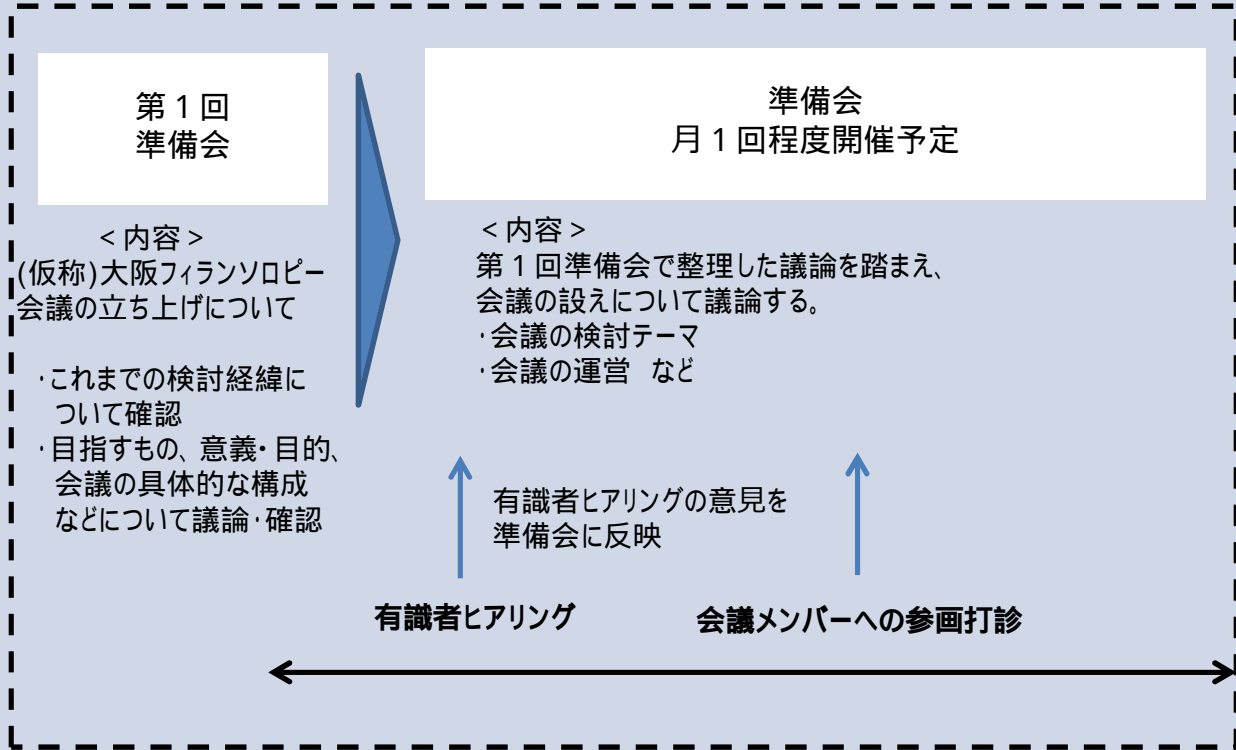
- ・クラウドファンディングポータルサイトの立上げ
- ・寄附、遺贈の受け皿組織、対応窓口の設置
- ・休眠預金の受け皿組織、対応窓口の設置
- ・SIBなどのモデル実施 など

その他

- ・会議として国へ提言
- ・非営利とベンチャー（営利企業）との連携
- ・経営支援人材と非営利のマッチング など

今後のスケジュールイメージ

H29.3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月以降



**第1回
準備会**

- <内容>
(仮称)大阪フィランソロピー
会議の立ち上げについて
- ・これまでの検討経緯について確認
 - ・目指すもの、意義・目的、会議の具体的な構成などについて議論・確認

準備会
月1回程度開催予定

- <内容>
第1回準備会で整理した議論を踏まえ、
会議の設えについて議論する。
- ・会議の検討テーマ
 - ・会議の運営 など

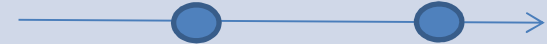
有識者ヒアリング

会議メンバーへの参画打診

(仮称)大阪フィランソロピー会議設立

- （具体的なテーマについて議論）
- 情報発信（大阪の非営利セクターの発信について）
- 資金（新たな資金・投資を生む仕組みづくり）
- 「フィランソロピー都市宣言」といった提言 など

全体会議



コア会議



適宜、庁内WGを開催

- 準備会でまとめた方向性や取組みに対し、公益活動の促進に取り組む行政として、
- ・府市での既存施策等と整合性はとれているか
 - ・所管法人の先行した活動事例はないか
 - ・行政の施策として、新しい取組みができないか
- などの議論を想定。